



乳がん検診を受けましょう

乳がんは乳房にできる悪性の腫瘍です。生涯に乳がんを患う日本人女性は、11人に1人*と言われ、30～64歳の女性の死亡原因のトップとなっています。しかし、早期に発見し適切な治療を行えば、良好な経過が期待できます。

* 出典：2013年国立がん研究センターがん情報サービス「がん登録・統計」

＜早期発見のために＞

月に1度の自己チェックをしましょう

月に1回、鏡で乳房の変化を確認する視診と乳房を触って確認をする触診を合わせて行いましょう。詳しくは、[東京都 自己触診](#) [検索](#)

40歳からは、2年に1度の検診を受けましょう

小さながんは、しこりとして触れないこともあります。自覚症状がなくても2年に1回は、乳がん検診を受けましょう。検診は、お住まいの自治体の住民検診、職場検診（実施がある場合）、人間ドック等で受けられます。

乳がん検診の詳細、区市町村の問い合わせ先は、[受けよう！がん検診](#) [検索](#)



しこりなどの自覚症状があったら、速やかに医療機関を受診しましょう

乳房に、しこりやひきつれ、乳首からの血の混じった分泌液など気になる症状がある場合は、乳腺外来のある医療機関を受診しましょう。



10月は乳がん月間です。ピンクリボンは、乳がんの早期発見、早期診断、早期治療の重要性を伝えるシンボルマークです。乳がん検診や早期発見、治療などについて考えてみましょう。

【この記事に関するお問い合わせ】企画調整課 企画調整担当

このマークは、目の不自由な方などのための「音声コード」で、コードの位置を示すために切り込みを入れています。専門の読み上げ装置で読み取ると、記事内容を音声で聞くことができます。

